

多国籍企業トヨタの世界的包囲が進んでいる！

この新たな攻撃を踏まえて、私達は次の行動の要請をいたします。

トヨタ自動車、フィリピン労働雇用省、フィリピントヨタへの抗議文送付
英文もしくはタガログ語で送らねばなりません。可能であれば、フィリピン
トヨタ労組あての激励文を送っていただくことをお願いします。

抗議文送付はレイバーネット日本の以下のURLから簡単に発信出来ます。

<http://www.labornetjp.org/Campaign/2006/toyota>

海外の方の抗議文送付用のURLです（英文）。

http://www.labornetjp.org/Campaign/2006/toyota_eng

連絡先 全造船機械労働組合関東地方協議会

TEL&FAX 045-575-1948

フィリピントヨタ労組を支援する会

TEL&FAX 046-869-1415

トヨタは追い詰められて来ている！

フィリピントヨタ労組は組合結成直後から交流のあったユニオン横須賀を介して二〇〇一年四月には来日し、神奈川の労働組合などと一緒に東京・愛知トヨタ本社に対する抗議行動を開始しました。この東京と愛知の本社抗議行動は毎年行われていますが、とりわけ東京本社に対する抗議行動は権利総行動の一環として年四回以上闘われています。また二〇〇四年九月には、フィリピントヨタ労組は全造船関東地協に加盟し、日本の地で神奈川県労働委員会にトヨタ自動車本体の不当労働行為の救済を求めています。

世界に広がるトヨタの包囲！

さらに、二〇〇四年五月のILO訪問を契機に、世界中の労働組合との交流を深め、また同時に、フランストヨタの仲間と交流することができました。

今年一月には、インドで、3人の組合員の解雇に抗議してインドトヨタの仲間1550人がストライキで決起しました。

トヨタはフィリピンで団体交渉を拒

否していますが、日本でも一九六二年以来団体交渉をしていません。労使協議会を行っているだけです。また、トヨタでは実質的に下級職制が組合役員を強制的に担わされ、この二重の過重労働の中で在職死すら起きています。つまり、多国籍企業トヨタは、対等な立場で会社と交渉し、時にはストライキもする普通の組合を認めないのです。そのため今年一月にはトヨタグループ四企業に属する六人の労働者によって既存のトヨタグループの組合と別に全トヨタ労働組合が結成されました。

トヨタは世界中に不当労働行為を輸出しています。そして、トヨタが不当労働行為を続ける限りトヨタに対する世界の労働者の闘いは終わりません。昨年来トヨタ自動車労組の属する国際金属労連（IMF）がトヨタなど日本の多国籍企業の海外での不当労働行為に対するキャンペーンを行いました。トヨタの包囲網はますます狭まっています。しかし勝利するためには、さらに強く、より強い包囲が必要です。

一人でも多くの方がトヨタに抗議を！